

変よく似たものもいる。その中の一つのアゲハモドキという蛾は、ジャコウアゲハやオナガアゲハに似ているので、ちょっとみただけではまちがうことがある。

また、目の醒めるような黄色の翅をしたスジボンヤマキチョウがとびだして、びっくりすることがある。雌は、きれいなクリーム色をしている。この蝶は、成虫で越冬するので、3～4月の暖かい日に山路でみかけることがある。冬を越して少しくたびれた色になっているが、ようやく草木が芽吹く頃なので、その明るい色彩から、一足先に春の訪れを感じとることができる。クロウメモドキなどに産み付けられた卵は、やがて幼虫になり、蛹を経て、5月末から6月に羽化して蝶になる。

山頂付近には、ベニシジミ・ヒメシジミ・クジャクチョウ・ウラギンヒョウモン・ルリタテハなどが舞っており、角度により翅の色が紫色に輝いて見えるコムラサキに出会うこともある。シシウドなどの花には、ハナアブ類や、ハナカミキリ類が集まっている。